

平成 2 5 年度

定期監査報告書

下諏訪町監査委員

25監委第21号

平成25年12月25日

下 諏 訪 町 長	青 木 悟 様
下 諏 訪 町 議 会 議 長	中 村 奎 司 様
下 諏 訪 町 教 育 委 員 会 委 員 長	依 田 秀 人 様
下 諏 訪 町 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	田 中 良 治 様
下 諏 訪 町 農 業 委 員 会 会 長	林 信 夫 様
下 諏 訪 財 産 区 議 会 議 長	山 田 一 夫 様

下 諏 訪 町 監 査 委 員

星 野 岳 生

津 金 裕 美

平成25年度定期監査の結果報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項及び下諏訪町監査委員条例（昭和49年町条例第21号）第2条の規定に基づき、平成25年度定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

目 次

ページ

1	定期監査日程	1
2	現地監査日程	1
3	監査の対象及び方法	2
4	監査の結果	2
5	監査の所見	3
6	平成24年度定期監査結果（所見）と措置状況	5

1 定期監査日程

定期監査日程表

月 日	曜日	時 間	課 等 名	場 所 等
11 月 18 日	月	午前 9 時 00 分 から	税 務 課	第 4 委員会室
		午後 1 時 15 分 から	総 務 課	
11 月 19 日	火	午前 9 時 00 分 から	住民環境課	第 4 委員会室
		午後 1 時 15 分 から	健康福祉課	
11 月 20 日	水	午前 9 時 00 分 から	下諏訪南小学校	各 施 設
		午前 10 時 10 分 から	とがわ保育園	
		午前 11 時 20 分 から	下諏訪中学校	
		午後 1 時 30 分 から	みずべ保育園	
		午後 3 時 00 分 から	ハイム天白	
11 月 21 日	木	午前 9 時 00 分 から	消 防 課	消 防 署
		午前 10 時 00 分 から	産業振興課	第 4 委員会室
11 月 22 日	金	午前 9 時 00 分 から	会 計 課	第 4 委員会室
		午前 10 時 00 分 から	建設水道課	
11 月 25 日	月	午前 9 時 00 分 から	教育こども課	第 4 委員会室
11 月 26 日	火	午前 9 時 30 分 から	議会事務局	監査委員室

2 現地監査日程

現地監査日程表

月 日	曜日	監 査 箇 所	関係課等
11 月 21 日	木	春宮西公衆便所改修工事	産業振興課

3 監査の対象及び方法

平成25年度の上半期（4月～9月）における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理状況について、下記の指定資料の提出を求め、諸帳簿・書類の照合等と併せて関係職員からの説明を受け、質疑応答を交えながら実施した。

また、工事現場等に出向き関係職員から説明を受け現地検証を実施した。

さらに、前年度の監査指摘事項に係る措置状況の報告を受け、再確認をした。

○指定資料

- ① 職員配置・事務分掌
- ② 書類目録
- ③ 予算執行状況＜歳入・歳出＞
- ④ 工事実施状況
- ⑤ 公有財産増減状況（土地及び建物）＜取得・処分＞
- ⑥ 備品購入・不用決定（所管換）状況
- ⑦ 業務委託状況
- ⑧ 主な行事等の状況
- ⑨ 重点施策の進捗状況
- ⑩ 主な業務概要・事務事業実績
- ⑪ 賄材料費の業者・月別支払額一覧表
- ⑫ 前回監査の状況及び指摘事項の処理状況
- ⑬ その他（1）保育園関係（2）学校関係（3）水道事業関係
- ⑭ 各課添付資料

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理状況は、全般を通じ、その処理状況は適正と認められた。しかし、一部事務処理に検討・改善を要する事項が認められたので、次に記述する所見を踏まえて、一層適正な事務の執行に努められたい。なお、軽易な事項については、それぞれ口頭での指導も併せて行った。

5 監査の所見

(1) 予算の執行状況について

平成25年9月末現在の歳出計算書に関し、各事業別・節別の執行率が10%未満で予算残額が100万円以上のものについて担当係に今後の予算執行の予定を聴取したところ、修繕費等で今後の状況によって不用額となる可能性があるものもあるが、概ね年度内に支払予定であるとの回答を得た。

(2) 町税等の徴収事務について

景気動向に変化の兆しが見えているが、町税等の納付が困難な状況にある納税者の状況は改善せず、徴収事務担当課にはご苦勞をいただいているところである。前年同様、町税の他、料金等の滞納がある方について税務課を中心に全課対応での集中滞納整理が行われており、着実な成果がみられる。

また、保育料等の未収金については児童手当から充当する手続きがなされており、滞納額の減少に一定の効果がみられる。

滞納繰越分の収納に関しては、収納が進むことにより更なる徴収が難しくなるが、引き続き適切な対応をお願いしたい。

(3) 水道事業、下水道事業、財産区温泉料の未収状況について

水道料金等の利用料は特定の事業者が重複して滞納している。

滞納料金の精算は、事業廃止時に事業不動産の売却代金を原資として行われることが多く、不動産の担保余力を定期的に確認する必要があると思われる。

(4) 関係団体会計受託業務について

関係団体の会計及び資金の管理業務を代行している部署があるため、可能な限り当該団体に業務を移管するよう提言している。

関連団体は当町とは別個の会計主体であるが、町職員が代行処理をしているため、定期監査において資金管理の状況を確認した。

一部、上席者が査閲した形跡が明確に残されていない部署があったため、対応を依頼した。

(5) 工事入札状況の変化について

予定価格が1,000万円以上の工事の入札時に調査基準価格を下回るものについては、低入札価格調査委員会を開催して落札承認がされることになっている。当上半期では低入札価格調査委員会の開催対象となるものはなかった。

逆に落札まで2回入札を行った工事が散見されるようになった。いわゆる安倍ノミクスによる景況観の好転や消費税率の改定がその原因と考えられる。

工事需給関係が逼迫しており、予定価格の積算が難しくなっている。

(6) 文書管理について

文書取扱主任者の管理のもと概ね適正に処理されていた。業務の変化に応じて新たに文書として登録すべきものがあること、申請者から提出された文書に誤りがある場合の対処方法、現地写真への日付記入漏れ等の細かい指摘があるので、処理を徹底願いたい。

また、個人情報が含まれる文書管理についての保管体制の充実、強化に引き続き留意されたい。

人口減や少子高齢化社会の進行は人類が初めて直面する事態と言われており、各自治体は医療福祉給付の拡大の中で、社会資本の更新、整備も行っていく役割を担っている。選択された事業の実施時期、実施方法の判断が一層重要となると考えられる。効率的かつ効果的な行財政運営を進め、住民ニーズに応じていくことを希望する。

6 平成24年度定期監査結果（所見）と措置状況

（監査の所見）

- (1) 予算の執行状況について
平成24年9月末現在の歳出計算書に関し、各事業別・節別の執行率が10%未満で予算残額が100万円以上のものについて担当係に今後の執行予定を聴取したところ今後の状況によって不用額となる可能性があるものもあるが、概ね年度内に支払予定であるとの回答を得た。
- (2) 町税等の徴収事務について
昨今の景気低迷により町税等の納付が困難な状況にある納税者が減少せず、徴収事務担当課にはご苦勞をいただいているところである。前年同様、町税の他、料金等も含めた全課対応での集中滞納整理も行われており、成果がみられる。
滞納繰越分の収納に関しては、前期収納が進んだことにより更なる徴収が難しいとのことであるが、引き続き対応をお願いしたい。
- (3) 水道事業、下水道事業、財産区温泉料の未収状況について
水道料金等の利用料は特定の者が重複して滞納する傾向にある。
現在、担当部署では利用者の状況に応じた柔軟な対応をとっているが、今後の経済状況によっては未収金が増大になることも予想されるので適切な管理をお願いしたい。
- (4) 施設預り金銭等の管理について
町営の福祉施設で入所者の現金預金を保管しているが、内部牽制を考慮して定められた手続きに従い良好に管理されていた。今後も引き続き確実な処理をお願いしたい。

（措置状況）

- ・今後も事業の進捗状況を把握しながら適正な予算執行に努めます。
- ・引き続き、収納対策室を中心として課を越えた連携による集中滞納整理などを実施し、収納率の向上に向けた効果的な取組みを進めてまいります。
- ・滞納額の圧縮に一定の成果が上がった結果、徴収困難案件の占める割合が増えておりますが、滞納者の実態調査を踏まえ、分納誓約や差押のほか、県地方税滞納整理機構への移管、県との併任徴収など活用し、公正な滞納整理・滞納処分に努めます。

- ・今後も厳しく適正な処理を心掛けます。

- ・今後も適正な処理を心掛けます。

(監査の所見)

- (5) 関係団体会計受託業務について
関係団体の会計及び資金の管理業務を代行している部署があるため、可能な限り当該団体に業務を移管するよう提言している。当期は3団体の会計業務を返上移管したため、9月末では31団体の管理業務を代行している。

関連団体は当町とは別個の会計主体であるが、町職員が代行処理をしているため、監査委員の定期監査においては部署内の会計・資金管理の牽制の状況を確認するほか、9月末の預金帳簿残高と預金通帳残高の照合を行った。一部、上席者が査閲した形跡が明確に残されていない部署があったため、対応を依頼した。

- (6) 低入札価格工事について
当上半期に調査基準価格を下回った低入札工事は16件あり、うち予定価格1,000万円以上は2工事で低入札価格調査委員会が開催され、残り14件は1,000万円未満の工事であった。16工事とも所定の手続きを経て落札が承認され、工事品質確保のための手続きが行われている。

- (7) 業務委託契約の集約化について
多数の部署が維持管理、保守点検等の同種の業務を委託する場合、総務課が取りまとめて一括して入札や随時契約の対象としており、契約価格を下げる工夫がなされている。

一方で同種の業務を委託する部署が少ないときには、競争入札、随意契約により結果的に同一取引先への個別発注となる事例が散見される。

担当課を超えて契約内容を一契約にまとめることで価格交渉力を高めることができる可能性があると考えられるため、その可否を検討されたい。

(措置状況)

・町職員が関係団体の事務局を行っており、町の施策を町に代わり事業推進している経過がありますので、すぐに事務局移行は難しいところがあります。しかし、今後において、関係団体と規約の改正、会計処理等について協議の場を持ち、自立に向けた検討を継続していきたいと考えています。

また、会計業務は伝票処理とし、上席者が必ず査閲するよう、課長会を通じて周知徹底いたします。

・引き続き適正な入札制度の執行に努めます。

・個別発注となっています業務委託契約の内容を精査し今後検討してまいります。

(監査の所見)

(8) 給食食材発注先について

町が運営する施設で給食を提供しているものに保育施設3園、学校4校、福祉施設1か所がある。町内には複数の施設に対して安定的にきめ細かな食材提供ができる業者が限られており、近隣市、諏訪圏域外の業者に依存せざるを得ない状況にある。

安心、安全な食材の確保、および地元活性化のためにも町内業者(また組合)の育成について検討をお願いしたい。

(9) 文書管理について

文書取扱主任者の管理のもと概ね適正に処理されていた。業務の変化に応じて新たに文書として登録保管すべきものがあること、一部鉛筆書きされている部分があること、決裁文書の修正箇所修正者印が失念されたものがあること等の細かい指摘事項があるので、処理を徹底願いたい。

また、個人情報が含まれる文書管理については、保管体制の充実、強化をお願いしたい。

(措置状況)

・食材や数量によっては特定業者となりますが、町内業者に発注できるものは、できるだけお願いしているところです。

9月から11月にかけては、産業振興課のバックアップのもと町内産の野菜やりんごを安価で仕入れています。(教育こども課)

・ハイム太白では、特殊な介護用専門食を除き、極力町内業者からの購入としています。(健康福祉課)

・現在学校食には、地産地消の取り組みとして、町内農家で栽培した野菜やりんごを納入しています。収穫時期や作付面積に限界はありますが、生産者の顔が見え、季節を感じられる安全な食材を納入できるよう今後も検討してまいります。(産業振興課)

・指摘事項及び個人情報が含まれる文書管理については、文書取扱主任者会議及び課長会を通じて周知徹底いたします。